

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すてっぴ天久1		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援について、児童発達支援管理責任者の意見のみではなく、色々な意見を支援に取り入れています。	・職員会議を定期的に設け、活動プログラムを考えるとともに、取り組みに向けて全員で意見を出し合い、活動プログラムが固定化されないようにしている。	・インクルージョンに向けた、事業所みの取り組みだけでなく、地域参加型の活動プログラムを積極的に取り入れていく。
2	・支援内容のみだけでなく、家庭での困り感等、保護者様の相談がしやすい環境です。	・送迎時のご相談や定期的なモニタリング時のご相談、お子様の急な様子の変化に伴う電話でのご相談など、保護者様だけで困り感を感じて過ごさない様、状況に応じた解決案と一緒に考えさせて頂いています。	・お子様の様々な課題も、利用して頂ける事で解決できる事業所作りを行い、地域資源・社会資源も活用しながら、課題解決に取り組んでいく。
3	・お子様の年齢が幅広い為、同年代のお子様のみではなく、様々な年代のお子様と、児童指導員や保育士がサポートしながら、関わる事が出来ます。	・お子様の特性に合わせて、活動プログラムでの役割を職員全体で考えながら、様々な年代のお子様とも取り組む中で、困り感がない様に、職員が付き添い、視覚化を意識しながら活動を行っています。	・情緒不安定な様子が見られる時期に、卒業後の進路先との交流が持てる様な活動プログラムを今後行える様に、各関係機関との連携強化を目指していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所が狭く、運動の活動スペースが限られている。	・事業所の間取りなどが、狭く、改修も構造的に難しい。	・事業所の前に天久ちゅらまち公園がある為、公園を上手く活用し、活動スペースが必要な種目では、公園を使用している。
2	・小学校や、学童、地域のこどもと交流する機会が少ない。	・イベント等のリサーチが不足している可能性がある。ネット等がリサーチ基になっている為、情報源を増やしていきたい。	・夏休み等の学校が長期休みの時期には、地域の子供たちと交流ができるイベントに積極的に参加し、事業所主催で地域の人々が参加できるイベントを企画していき、地域での交流を増やしていく。
3	・SNS等を上手く利用できておらず、事業所での活動の様子の発信が遅れている。	・午前中は、活動の準備や、職員同士のミーティングに時間をかけている為。	・現在、朝礼や終礼、日々の活動の準備や、お子様の利用の記録などで日々の業務が手一杯になっている為、SNSなどの情報発信に必要な時間を確保する為にも、職員の増員に努めます。